



よこどっ子



千葉市立横戸小学校

学校だより第5号
令和8年9月4日(金)

〒262-0001

千葉市花見川区横戸町1005

TEL043-259-5588

「後半戦」のスタート！最高のチームでまとめの時期へ 校長 渡邊 泰弘

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動へのご理解と温かいご協力をいただき、心より感謝申し上げます。44日間の長い夏休みが明け、学校に子供たちの元気な笑顔と挨拶が戻ってきました。『全員が最高の笑顔で戻ってくること』という夏休み前の約束を、子供たちは100点満点でクリアしてくれました。大きな事故やトラブルの報告もなく、こうして無事に後半戦のスタートを切れたことは、ご家庭での温かい見守りと心配りがあったからこそと、深く御礼申し上げます。

学校が再開してからのこの3日間、子供たちは夏休み中の自由研究や工作などの力作を誇らしげに見せ合いながら、少しずつ学校の生活リズムを取り戻しています。充実した日々を経て一回りたくましく成長した姿を大変うれしく感じています。

しかし、この夏休みは、全国や千葉県内でも大きな自然災害のニュースが相次ぎました。7月末の熊本県での大きな地震、そして8月中旬に千葉市を襲った記録的な豪雨は、私たちの記憶にも新しいところです。市内の他の小学校では、校舎や体育館などが浸水し、今も片付けに追われている地域や、いつも通りの生活を送ることが困難な仲間がいます。今、私たちがいつも通りの教室に集まり、いつも通りの毎日を過ごさせていることは、決して当たり前ではありません。この日常のありがたさと幸せを私たち教職員も改めて強く噛み締めています。災害はいつどこで起きるかわかりません。だからこそ、学校では「もしもの時に命を守る準備と心構え」を徹底していきます。ご家庭でもぜひ、「もしもの時はどうする？」とお子様と話し合う機会を設けていただければ幸いです。

これから本格化する後半戦、横戸小学校がより強くて優しい「最高のチーム」になるために次の2つの作戦（方針）を大切にしていきます。

1つ目は「チームワーク（思いやり）」です。大変な思いをしている仲間に心を寄せ、まずは目の前の友達を大切にすること。日々の生活の中で「思いやりの声」を掛け合い、お互いを助け合える優しさを学校から地域へと広げていきます。2つ目は「命を守る準備」です。いつ災害が起きても、一人一人が「自分の命は自分で守る」というルールや心の準備を常に意識できるよう、日頃から指導を重ねていきます。

9月は前期のまとめの時期となります。1年間の中で最も学習に集中して取り組みやすい「学びの秋」です。これまでの頑張りを正しく評価し、自信に繋がられるよう、各教科のまとめ学習に力を入れていきます。まだ少し緊張や疲れが見られる時期でもありますので、子供たちの心と体の運転モードに寄り添いながら、これから控えている6年生の修学旅行をはじめとする様々な行事に向けて、教職員一同、全力で指導・支援を続けていきます。充実した後半戦となるよう、今後とも皆様のご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

